



月根尾

9月

238号

～「月根尾」とは、学校のある地域の古名「突根尾原」に由来する地名です～



鵬雲祭を終えて思うこと

校長 青山 顕紹

猛暑も幾分和らいできた夏の終わり、8月26日から開催された令和3年度の鵬雲祭が閉幕しました。これまでも色々な高校で学校祭は見てきましたが、まず感じたのは、この規模の学校祭をこの人数で創り上げたことへの驚きです。文化祭2日間、体育祭1日の3日間開催で、生徒会のオープニング映像から始まり、報道部、書道同好会、吹奏楽部、神楽愛好会などの部活動の発表、生徒会企画①②、クラスパビリオン、各種展示、ミュージックコンテスト(クラス合唱)、クラスパフォーマンス、デコレーション、応援合戦、衣装・・・高校生が創る学校祭としては、ほぼフルスペックと言ってよい内容だったと思います。また、昨年に続き、新型コロナウイルス感染症という大きすぎるハードルに対し、感染リスクをできるだけ下げるための工夫を施しながらの様々な企画や制作、運営も随所に見られました。「生徒たちは、一人何役をこなしたのだろう」と思うと同時に、生徒会長を支えた生徒会役員の皆さん、生徒会を支えた生徒指導部、3年生を支えた1・2年生、生徒たちを支えたクラス担任やその他の先生方、保護者の皆様、学校を支えたPTA・鵬雲会・地域の方々、これらすべての関係性がかみ合って「鵬雲祭」という大きな創造物は創られているのだということを実感できる3日間でした。ありがとうございました。

@Paddy Brington



It's 勝 Time ~君が主役~



▲書道同好会パフォーマンス テーマの揮毫を披露!

さて、今年の鵬雲祭を創った同じメンバーが、来年の鵬雲祭に全員集まることは100%ないということ、令和3年度の鵬雲祭は「今だけ、ここだけのもの」ということは、鵬雲祭パンフレットの巻頭言にも書きました。一生に一度だけの機会という意味の「一期一会」という言葉があります。「一期」とは「生まれてから死ぬまでの期間」、「一会」とは「集まり」という意味です。鵬雲祭は特別な「一期一会」ではありますが、そもそも我々の「今」は一瞬のうちに過去となってしまふものであり、一生の中に同じ「今」は存在しません。すべて「一期一会」です。鵬雲祭が終わって、令和3年度はいよいよ後半に入っていきます。生徒諸君には、就職、進学、授業、部活、学校行事 etc・・・すべての「一期一会」を大切に丁寧に、日々を過ごしてほしい、そう願っています。

鵬雲祭ポスター▶



▼体育祭デコレーション



8/26

文化祭1日目

1日目は、書道同好会のパフォーマンスや報道部の動画上映、吹奏楽部の演奏、茶道同好会のお茶席、自然科学部の色の変わる不思議ドリンク、生命地域ラボ「神楽愛好会」の神楽上演など、文化部の普段の活動の様子が分かるキラリと光る活躍を見せてくれました。

そして、昨年はコロナ対策として中止となったクラスパビリオン。今年は、各クラスがどうやったら感染対策をしながら楽しめるか考え企画書を出し、実現に至りました。

P T A 模擬店では、昨年に続き手作りの食事提供は中止となりましたが、子ども達のためにと P T A 評議員の皆様が様々な店を提案してくださいました。生徒達は、種類豊富なお昼ご飯を楽しんでいました。P T A 企画委員の皆様を中心に、お世話になりました。



▲クラスパビリオン：射的～ 共同で使うものは手袋をして感染対策



▲PTA企画委員の皆様
模擬店スタッフとして協力してくださり
ありがとうございました！



▼茶道同好会：お茶席



▼神楽愛好会：
演目『鍾馗（しょうき）』



＊裏方でも4人の生徒が
活躍していました！

8/27

文化祭2日目

2日目の見どころは、ミュージックコンテストとクラスパフォーマンス。ミュージックコンテストでは、短い練習期間でしたが2部合唱や3部合唱が良くまとまっており、気持ちのこもった歌声が響いていました。クラスパフォーマンスでは、ダンスや映像、コントなど各クラスの個性が活きている演出で、会場全体で楽しめる時間でした。クラスの絆がぐっと深まった2つの出し物だったのではないかと思います。



8/28

体育祭

最終日は体育祭。雨が心配されましたが、生徒の活気でほとんど影響なく、全競技を行うことができました。クラスや学年を越えて、各色で協力しながら全力で競う姿が随所に見られました。応援合戦、衣装、デコレーションでも、3年生を中心に短期間でまとまりのある成果を見せてくれました。



鵬雲祭を終えて 生徒会長 藤原 寿人

先日の鵬雲祭お疲れ様でした。生徒会が運営する行事の一つでとても楽しみであった一方、昨年に引き続きコロナ禍での開催で、不安もありました。ですが、無事に3日間やり遂げることができ、本当に嬉しく思います。準備期間が少なく、初めて体験することもあったと思いますが、どのクラス・どの色も最高のパフォーマンスでした。今回の鵬雲祭も様々な方の支援や協力のおかげで、大成功を収めることができました。生徒1人1人が輝く大舞台だったと思います。

そして、この行事が我々生徒会の運営する最後の大事な仕事でした。今まで感染症の影響で思うようにいかないことも多々あり、悩むこともありました。鵬雲祭を終えた今では、ここまで諦めず、全力で企画・運営に務めてきてよかったと感じています。本当にありがとうございました。

生徒の中心となって
鵬雲祭を引っ張ってきた
生徒会執行部の皆さん。
今年度は一新した生徒会企画も
考えて実行してくれました。
お疲れ様でした！

今年度も、来賓、地域の皆様には新型コロナウイルス感染症拡大の状況から、出席を見合わせていただきました。また、保護者の皆様にも、時間を区切ったの参観にご協力いただき、ありがとうございました。

テニス部

8/21-22

島根県高等学校新人テニス大会出雲地区予選



【女子シングルス】

- 安部 千桜 **優勝!** 県大会出雲地区1位シード権獲得
- 森山 智望 **準優勝!** 県大会出雲地区2位シード権獲得
- 片地 ことの **予選突破** 県大会出場権獲得



【女子ダブルス】

- 上田 詩乃・安部 千桜ペア **準優勝!** 県大会出雲地区2位シード権獲得

野球部

8/21-22

令和3年度出雲地区リーグ戦

- 【予選トーナメント 1回戦】飯南 8-4 出雲農林
- 【予選トーナメント 2回戦】飯南 6-3 出雲工業
- 【1位リーグ戦 第1試合】飯南 5-1 5 三刀屋
- 【1位リーグ戦 第2試合】飯南 2-1 1 出雲西



第3位

2年生

3年生

献血セミナー

9/2

島根県赤十字血液センターから講師の先生にお越しいただき、2・3年生を対象に献血セミナーを行いました。DVDやスライドを使って、献血が必要な理由や献血の流れ、献血基準（男性17歳～、女性18歳～、その他）などをとても分かりやすく教えていただきました。

生徒からは、「輸血の8割が病気の人に使われていることを初めて知った。」「日本では毎日1万4千人分の献血への協力が必要なことに驚いた。」「自分の血液で助かる命があることを知り、前向きに考えることができた。一人でも多くの命が救えるように献血をする大切さが分かった。」「自分が血液を必要とする側だったら…と、様々な視点から考えるきっかけになった。」「献血は他人事だと感じていたことに気づいた。自分が思っていたよりも



多くの人が献血に行っていることを知ったが、それでも年々献血をする人が減っていて、血液が足りていないことも分かった。自分も献血をして誰かの役に立ちたいと感じた。」などの感想がありました。

最後に、「事情があったり基準に満たなかったりして献血できなくても、献血のことを人に話すだけで命を助けるきっかけになる」と仰っていました。自分にできることを考え、行動に移してくれることを期待しています。

10月の主な行事予定



- 9月30日（木）中間試験（～10月5日）
- 10月 9日（土）県外中学生対象学校説明会
- 12日（火）中高R54ボランティア清掃（2年）



- 21日（木）生徒総会
- 25日（月）公開授業旬間（～11月5日）
- 26日（火）ロードレース

*行事予定は今後変更になる可能性があります。